

令和4年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生を防ぐことを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める

1 実施責任者

横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長が補佐する。また、総括教諭は、校長及び副校長、教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目標及び行動計画

課題		目標	行動計画	所掌グループ等	実施予定
1	法令遵守意識の向上	法令遵守の意識を高め公務外であっても、公務員として自覚ある行動をする	職員行動指針の周知をはかるとともに、啓発資料等により法令の遵守、服務規律の徹底をはかる	副校長	通年
2	職場のハラスメントの防止（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）	教職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事防止を徹底する	外部講師を招き、職場のハラスメント防止に関する校内研修会を実施する	副校長	12月
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事防止を徹底する	啓発資料等により、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為防止に関する研修を実施する	教務 副校長	5月
4	体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導の現状を理解し、当事者意識を持つことにより指導力の向上をはかる	事例を交えて、体罰・不適切な指導をどのようにしたら防げるかを小集団で考え、全体で共有する	総務管理 連携支援	8月
5	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個人情報の作成や扱いについて共通理解を図り、組織的に事故を防止する	進路関係書類等の取扱いと注意事項について確認する 入学者選抜の準備会議等で全体に注意すべきことを伝える	教務 学部	11月
6	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報管理と情報セキュリティ対策について共通理解を図り、組織的に事故を防止する	個人情報の管理と情報セキュリティの重要性について認識し「神奈川県情報セキュリティポリシー」を遵守する	教務 総務管理	4月
7	人権尊重の理解と人権感覚の向上	人権尊重の理念を深め、人権感覚を高める	外部講師を招き、教職員の人権感覚を高めるために、人権教育研修会を実施する	教育推進	7月

3 プログラムの実施及び検証

(1) 中間検証

2に規定する行動計画について、随時必要な追加・修正を行いつつ、令和4年9月に実施状況の中間検証を行い、各目標達成に向けて行動計画を追加・修正する。

(2) 最終検証

2に規定する行動計画について、令和5年2月中旬までに実施状況を確認すると共に、各目標達成についての評価を行う。その結果を踏まえて、令和5年度における横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラムを策定する。